



平成21年度
埼玉工業大学同窓会会報

清流



第23号

同窓会寄贈スクールバス

工学部学科専攻紹介

平成23年4月から、工学部に6つの専攻が誕生します

好奇心キーワード

学部・学科

専攻・コース

- ・クルマが好き！バイクが好き！
- ・工作していると時間を忘れる
- ・機械の分解、組み立てが好き
- ・エンジニアになりたい

機械工学科

機械工学専攻

ロボティクス専攻

めざせる進路・職業

- 大学院進学 ●教員 ●工業系エンジニア
- CADオペレーター ●工業系企業 ●医療・福祉施設
- 教育施設 ●システムアナリスト ●情報処理技術者
- 一般企業 ●電気通信関連企業 ●IT企業
- CGクリエイター ●マスメディア関係 ●公務員 ほか

- ・実験が好き！
- ・DNA, ゲノム…もっと知りたい
- ・環境問題に興味がある
- ・化粧品を開発したい

生命環境化学科

バイオ・環境科学専攻

応用化学専攻

めざせる進路・職業

- 大学院進学 ●教員 ●化学系エンジニア
- 工業系企業 ●工業系エンジニア ●成分分析エンジニア
- 一般企業の衛生管理者 ●環境調査士
- 建設業 ●製造業 ●浄化槽関連企業
- システムアナリスト ●情報処理技術者 ●公務員 ほか

- ・パソコンが好き！
- ・インターネットで仕事がしたい
- ・高性能ケータイの開発に携わりたい
- ・プログラミング技術を身につけたい

情報システム学科

IT専攻

電子情報専攻

めざせる進路・職業

- 大学院進学 ●教員 ●電気通信関連企業
- システムアナリスト ●情報処理技術者 ●IT企業
- システムエンジニア ●CGクリエイター
- マスメディア関係 ●一般企業 ●公務員 ほか

工学部

機械工学専攻

産業界のさきがけとなるスペシャリストをめざす

専攻の特色

材料力学、機械力学、流体力学、熱力学などの4大力学をベースに、実践重視のカリキュラムを学びながら、機械工学の基礎から応用までの専門知識と技術を身につけることができます。ものづくりを通じて社会に貢献し、未来の産業界を支える人材を育成します。

機械工学は、日本の産業界を支えている工学の基幹ともいえる「ものづくり」の総合分野です。工業技術や工業生産には、品質の高さや生産効率の良さにとどまらず、安全性や快適性、地球環境の保全、省エネ・省資源の課題などを常に念頭に置かなければなりません。これからのエンジニアには、創造的な開発能力、地球や人に優しい技術の開発力が必要とされます。自分のアイデアを生かしたものづくりが、人の笑顔につながる分野でもあり、ものづくりを通じて社会に貢献することができる素晴らしい学問です。

本専攻では、4大力学と呼ばれる材料力学、機械力学、流体力学、熱力学を基本として、情報・制御、生産・設計システムなど、ものづくりに必要な幅広い基礎知識と応用力を身に付ける教育を行っています。基礎から先端技術までの多様な専門知識と技術の習得、創造力・理解力の育成、「ものづくり」教育を大きな3本柱と据え、少人数のカリキュラムを構成、産業界の最先端で活躍できるエンジニアを養成します。

ロボティクス専攻

人と地球にやさしい未来型先端技術を学ぶ

専攻の特色

人と接し合うこと、また、人間が操作する機器におけるロボット技術の基礎と応用を、実践を重視したカリキュラムを学びながら身に付けることができます。将来の技術を支えるロボットテクノロジー、人と地球にやさしい「ものづくり」に貢献できる人材を養成します。

本専攻は、ロボット技術の基礎・応用的な知識を身に付けるだけでなく、社会に貢献できる人材を養成することを教育の目的としています。そのために、自然に工学と技術の基礎が身に付くような学習プログラムを用意しています。1年次より、興味や関心を高めるプロジェクト形式でのロボット製作やCAD製図などの授業を通じて、専門の知識と技術を習得するために必要な基礎を同時進行で学ぶことができます。

楽しみながら、目的意識を持って学ぶことは、自然と技術レベル・習熟度の向上につながり、さらには、科学、哲学の心が自然に芽生え、柔軟で多様な物の見方や豊かな発想力、コミュニケーション能力が養成されます。人を中心にして設計開発することを学び、将来の安全・安心な社会の創造をめざすことができ、産業界で最先端の制御・情報・通信技術を駆使して、活躍できる人材を養成します。

バイオ・環境科学専攻

物質から環境・生命へ… 果てしなく広がる化学の世界を学ぶ

専攻の特色

バイオ・環境科学専攻では、21世紀の社会で重要な課題としてクローズアップされている、地球環境問題・バイオテクノロジー・新素材開発に対応して、「環境」と「生命」をベースに、社会のニーズに対応できる知識と能力を身に付け、産業界で活躍できる人材を育成します。

生命科学の最近の進歩は著しく、ライフサイエンスや医薬・医療の分野でも、化学・材料工学を応用した先端技術が飛躍的な進歩を遂げていますが、未来に向けて、人や環境にやさしい技術開発が必要とされています。本専攻には、「生命（バイオ）」と「環境」の2つのフィールドがあり、将来の進路や興味に合わせて、専門を選択することができます。「生命科学分野」では、自然が織り成す様々な生命現象を分子・細胞レベルで理解するとともに、生物学を中心としたバイオ技術の習得とその開発の習得を目指します。「環境科学分野」では、近年、注目されている『地球環境問題』に対応するための浄化技術、太陽電池や燃料電池をはじめとする新エネルギー、環境評価、リサイクルに関する専門知識と技術を専門的に習得します。いずれの分野でも生物学・化学だけにとどまらない広範囲な知識・技術を発揮することができる、正しい倫理観を身に付けた技術者や研究者を育成します。

応用化学専攻

人に優しく環境に調和した、21世紀を支える先端化学を学ぶ

専攻の特色

応用化学専攻では、ナノテクノロジー・先端材料、食品、エネルギー、環境など、社会の幅広いニーズに対応できる、「化学」の知識や技術を身に付け、「化学」の力で21世紀を支える研究者や技術者の養成を目指しています。

将来、人々が快適な生活をおくるために、人に優しく環境に調和した新素材や新材料を開発することが求められています。そのためには、「化学」の力が必要不可欠です。本専攻では、先端材料、食品、医薬品、エネルギー、環境、農林水産など、21世紀の産業界を支える幅広い分野に対して、「化学」の力で貢献できる専門技術者を育成します。特に、身近な生活用製品（衣料・食品・医薬品・化粧品・電化製品・電池・建材・自動車など）における製品の品質向上や新製品の開発に携わる技術者を養成するために、有機化学、無機化学、物理化学、分析化学、材料化学などの「化学」の高度な専門知識と最新技術を、体系的なカリキュラムと多彩な実験・実習を通じて系統的に学びます。「化学」の基礎から高度な専門知識、技術の習得はもちろん、新たな課題を自ら見つけることができ、その課題を検証できるクリエイティブな能力や柔軟な対応力を身に付けた技術者の育成を目標としています。

IT専攻

「人間のための工学」を理想に、IT社会で活躍できるスペシャリストをめざす

専攻の特色

IT専攻は、高度化、多様化する情報化社会に対応して、「数理情報」、「知能情報」、「情報ネットワーク」の3技術分野の基礎から応用までを学び、IT革命を担うスペシャリスト情報関連産業で活躍できる情報処理技術者やシステム技術者を養成しています。

21世紀は、地球の裏側から瞬時に情報を手に入れられるグローバルな時代です。しかし、社会の成熟につれて、情報は一人歩きし、例えば個人情報の漏洩など新たな問題も起こってきます。セキュリティなど、社会の安心・安全も視野に入れる必要があります。情報をどう使うのか、コンピュータに使われるのではなく、ニーズも立場も多様化した個々人が求めるものを、コンピュータを使って創造していくことが、これからの大きなテーマといえます。IT専攻では、「人間のための工学」を視野に入れて、「数理情報」、「知能情報」、「情報ネットワーク」の3技術分野を中心に、基礎理論から応用までを体系的に学びます。具体的には、数学の理論を使って数値データを処理したシミュレーション、バーチャルリアリティ、人工知能を利用したシステム、高度なネットワークの設計や開発などがあります。将来の高度情報化社会を創造できる、情報関連産業で活躍する情報処理技術者やシステム技術者を養成しています。

電子情報専攻

ハードもソフトにも堪能な、未来の産業基盤を支える電子技術系エンジニアをめざす

専攻の特色

電子回路や通信システムデバイスなど、電子や光の回路素子に関わるハード系分野について、「情報・数理系」、「回路・通信系」、「材料・デバイス系」の3専門分野を柱に学びます。未来を支える重要な産業の基盤である「電子技術」で活躍できる人材を養成します。

電気・電子技術は、現代社会では、情報とともに欠かせない技術のひとつです。工学に限らず、理学、医学、農学、建築学、経営学など、あらゆる分野でその技術が使われており、電子技術が豊かな社会を生み出し、未来を支える重要な産業の基盤であり続けることは確実です。電子情報専攻は、フィールドの広い電子工学系の学問を理解・習得しやすくするために、「情報・数理系」、「回路・通信系」、「材料・デバイス系」の3分野を柱にカリキュラムを構成しています。電子情報分野の専門科目を学ぶことにより、電子工学や情報工学の全体像を把握し、高い視点から問題を解明するための思考方法を習得することができます。さらには、将来の進路や興味、必要に応じて、IT専攻の専門科目も学ぶことができます。ハードウエアはもちろん、ソフトウエアにも精通し、通信システムや信号処理などハードとソフトをつなげる技術にも堪能な、バランスの取れた電子技術者の養成をめざします。

平成21年度就職内定状況

2008年9月のリーマンショックを端に世界の金融市場は大打撃を被りました。その結果、瞬時に世界経済は大不況に陥り、翌2009年には米国自動車メーカービッグスリーのGM(ゼネラル・モーターズ)とクライスラーが経営破たん追い込まれました。貿易立国日本も例外ではなく、自動車・輸送機器業界や電気・電子機器業界を中心とした輸出依存度の高い日本経済は、百年に一度と言われるほどの大不況に陥りました。

この影響は我が国の雇用情勢にも反映されており、厚生労働省の調査では、昨年9月の有効求人倍率は前年の0.77倍に対して0.43倍、完全失業率は前年の4.1%に対して5.3%、大学卒求人倍率は前年の2.14倍に対して1.62倍と、いずれも大幅に悪化しています。平成20年度までの売り手市場から一転して買い手市場に移行したことが明らかであります。企業の採用計画は7年ぶりにマイナスに転じ、採用人数を大幅に削減したため、必然的に企業の優秀な人材確保への意欲はさらに高まり、採用選考プロセスを増やし、選考基準を厳しくする厳選採用が行われました。

本学ではその対応策として、就職活動相談体制の充実と教職員の就職相談スキルの向上をテーマに支援体制を構築して、昨年の9月には、キャリアカウンセリングルームを設置し、キャリアアドバイザーを招聘して、より一層充実した学生相談を行っています。また、教職員が一丸となって学生の就職支援に充てるために、専門講師を招いて就職指導者セミナーを開催し、教職員一人ひとりが学生相談のできる体制を整えています。また、直接、企業訪問して職場を見学し、人事採用担当者から求人ニーズを確認するなどの業界・企業研究訪問会を実施しています。

平成22年3月卒業生の就職状況は、全体で内定率が前年の96%に対して10ポイントダウンの86%でした。学科別に見ると工学部では機械工学科は前年対比1ポイントダウンの98%、応用化学科は前年対比11ポイントダウンの84%、電子工学科は前年同比で95%、情報工学科は前年対比15ポイントダウンの78%、人間社会学部では情報社会学科は前年対比13ポイントダウンの83%、心理学科は前年対比15ポイントダウンの78%でした。求人状況は、求人社数で1,511社少ない4,130社で27%減少しました。

前述した不況の影響で生産性の低下による製造業や素材産業の業績悪化や、それに伴う研究開発費や設備投資の削減、好景気に急進した情報産業の低迷、個人消費の鈍化による小売・サービス業の業績不振等が内定率の低下や求人の減少に拍車をかけています。

平成22年度就職見通し

2010年度の日本経済は、民需主導の本格的な回復が期待できる状況にはなく、持ち直しの動きが続くとしても緩やかなものであると考えられます。

世界経済については、中国をはじめとしてアジア経済の回復が続き、欧米経済は緩やかに回復しています。企業部門では、輸出の回復により生産は回復し、設備投資は低調さが続くものの、下げ止まることが期待されています。

雇用環境については、「明日の安心と成長のための緊急経済対策」等により、雇用の下支え・創出の効果は働くものの、厳しい状況が続くと考えられます。雇用・所得環境の厳しさを背景として、個人消費は、子ども手当の支給等による政策効果が期待されますが、その効果を除けば低調な動きが続くものと考えられます。また、2010年度については、協会けんぽ等の保険料引き上げなど、勤労者の実質的な可処分所得の減少となる制度改正も予定されています。

2010年度の求人倍率は前年の1.62倍から1.28倍に低下しています。大企業は0.38倍から0.47倍、300人未満企業は8.43倍から4.41倍と、規模間の倍率差は縮小しました。来春2011年3月卒業予定の大学生・大学院生対象の大卒求人倍率は、1.28倍となりました。全国の民間企業の求人総数(計画)は、前年の72.5万人から58.2万人への19.8%のマイナスとなりました。一方、学生の民間企業就職希望者数は、前年の44.7万人から45.6万人への1.9%のプラスとなりました。以上のように昨年度以降、大学生にとっては「超氷河期」といわれるような非常に厳しい就職環境の下で、苦戦を強いられることが予想されます。

《卒業生の方へ》

学生の就職活動は非常に厳しい状況にあります。皆様の会社で採用予定がございましたら、ぜひとも情報をお寄せいただければと思います。

また、本学では、低学年からのキャリア支援に力を入れており、インターンシップも積極的に推進していますので、お問い合わせください。

【連絡先】

埼玉工業大学 就職課

〒369-0293 埼玉県深谷市普濟寺1690番地

TEL.048-585-6815 FAX.048-585-6886

E-mail:shushoku@sit.ac.jp

URL:<http://www.sit.ac.jp>

評議員会報告

平成21年度は、5月27日、12月9日、3月17日の3回開催され、下記の内容が審議・報告されました。

1. 審議事項

- ・平成20年度決算の件
- ・平成21年度予算の補正の件
- ・学校法人智香寺学園役職職位定年制に関する規程の制定の件
- ・学校法人智香寺学園埼玉工業大学育児休業規程の変更の件
- ・学校法人智香寺学園埼玉工業大学介護休業規程の件
- ・学校法人智香寺学園定年規程の変更の件
- ・学校法人智香寺学園定年年齢引き下げに伴う移行内規の制定の件
- ・学校法人智香寺学園定年年齢引き下げに伴う移行内規による定年退職者の再雇用に関する規程制定の件
- ・学校法人智香寺学園63歳定年退職者の再雇用に関する規程の制定の件
- ・学校法人智香寺学園選択定年制に関する規則の制定の件
- ・学校法人智香寺学園給与規程の変更の件
- ・学校法人智香寺学園埼玉工業大学表彰懲戒委員会規程の変更の件
- ・学校法人智香寺学園埼玉工業大学大学院学則の変更の件
- ・学校法人智香寺学園埼玉工業大学大学学則の変更の件
- ・学校法人智香寺学園正智深谷高等学校学則の変更の件
- ・学校法人智香寺学園埼玉工業大学大学院学位規程の変更の件
- ・学校法人智香寺学園埼玉工業大学大学院工学研究科規程の変更の件
- ・埼玉工業大学大学院人間社会学部規程の変更の件
- ・埼玉工業大学工学部規程の変更の件
- ・平成22年度学校法人智香寺学園事業計画の件
- ・平成22年度予算の件

2. 報告事項

- ・教員免許状更新講習について
- ・埼玉工業大学の将来像とそれに向けての改革の手順について
- ・平成22年度入試状況について
- ・平成21年度就職・進路状況について

事業報告

◎平成21年度事業報告

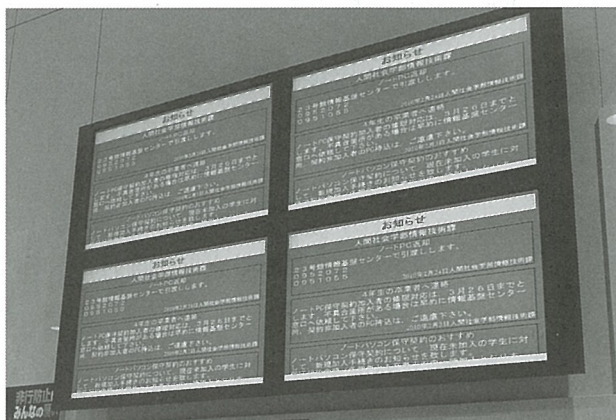
- 平成21年 4月 平成21年度スタート
- 6月 大学ホームページリニューアル寄贈
- 6月 全国大会出場Eco Tech プロジェクト支援
- 8月 全国大会出場フォーミュラ プロジェクト支援
- 9月 第22号同窓会会報「清流」発行
- 10月 ホーム・カミング・デイ参加
秋桜祭（学生会）支援
- 12月 スクールバスの「フカニヤ
ンペイント」寄贈
- 平成22年 3月 30号館電子掲示板（52イ
ンチ×4台）寄贈
同窓会より卒業生に記念品
- 4月 スクールバス寄贈

事務局から

会報の表紙にありますコスモスカラーのスクールバスを寄贈しました。手続きの都合で年度を越えてしまいましたが、無事に4月から大学一太田駅便を中心に運行をしています。学生支援はもとより、大学広報にもおいに貢献していると思います。1台はペイントの寄贈、もう1台はスクールバスごと寄贈です。

また、30号館の電子掲示板（液晶）も寄贈しました。これは、8年前にプラズマディスプレイで（50インチ×4台）を設置したものが古くなったための新規入れ替えです。

会報の中に就職課からのメッセージを掲載しました。学生の就職活動が大変厳しい状況のなか、我々卒業生も何とか学生の就職支援に力添えしたいと考えています。求人情報がありましたら、就職課又は同窓会事務局にぜひご連絡ください。「不景気だけど埼玉大は就職いいらしいよ」と言われるよう教職員、卒業生が力をあわせて就職氷河期を乗り越えたいと思います。



平成20年度 埼玉工業大学同窓会 実績書

平成20年4月1日～平成21年3月31日

【収入の部】

科 目	予 算 額	実 績	差 異
会 費	5,500,000	6,740,000	1,240,000
受 取 利 息	2,000	16,741	14,741
前 年 度 繰 越 金	13,827,382	13,827,382	0
合 計	19,329,382	20,584,123	1,254,741

【支出の部】

科 目	予 算 額	実 績	差 異
総 会 費	500,000	0	500,000
諸 会 議 費	350,000	154,760	195,240
会 報 費	1,500,000	1,603,353	▲ 103,353
消 耗 品 費	200,000	136,950	63,050
機 器 ・ 備 品 費	300,000	0	300,000
印 刷 費	400,000	23,100	376,900
通 信 費	200,000	67,840	132,160
慶 弔 費	900,000	467,250	432,750
大 学 祭 後 援 費	200,000	210,000	▲ 10,000
卒 業 生 後 援 費	1,000,000	830,025	169,975
学 生 後 援 費	3,000,000	0	3,000,000
同 窓 会 積 立 金	0	0	0
賃 借 料	100,000	0	100,000
事 務 局 人 件 費	200,000	0	200,000
雑 費	100,000	71,962	28,038
支 出 合 計	8,950,000	3,565,240	5,384,760
次 年 度 繰 越 金	10,379,382	17,018,883	▲ 6,639,501
合 計	19,329,382	20,584,123	▲ 1,254,741

埼玉工業大学同窓会監査報告書

埼玉工業大学同窓会
会長 黒岩 正明殿

作成日 平成21年6月17日
監 事 滝沼 東
監 事 佐藤 幸司

私は、埼玉工業大学同窓会会則第8条に定められた職務を遂行するため、平成21年6月17日、当大学において、同窓会の財産及び業務の状況等を調査するにあたり、収入及び支出に関する帳簿、証票書類その他必要な書類を照合点検して精査を実施いたしました。

監査の結果、業務執行の状況、財産の運用状況は適正であることが認められました。

よって、私は本計算書類が平成21年6月17日現在の財政状態及び同日を持って終了する会計年度の運営状況を適正に表示しているものと認めます。

平成21年度 埼玉工業大学同窓会 収支予算書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

【収入の部】

科 目	H21年度予算額	H20年度予算額	差 異
会 費	6,500,000	5,500,000	1,000,000
受 取 利 息	15,000	2,000	13,000
前 年 度 繰 越 金	9,900,000	9,611,517	288,483
合 計	16,415,000	15,113,517	1,301,483

【支出の部】

科 目	H20年度予算額	H19年度予算額	差 異
総 会 費	0	500,000	▲ 500,000
諸 会 議 費	350,000	350,000	0
会 報 費	1,600,000	1,500,000	100,000
消 耗 品 費	200,000	200,000	0
機 器 ・ 備 品 費	300,000	300,000	0
印 刷 費	400,000	400,000	0
通 信 費	200,000	200,000	0
慶 弔 費	800,000	900,000	▲ 100,000
大 学 後 援 費	1,500,000	0	1,500,000
大 学 祭 後 援 費	200,000	200,000	0
卒 業 生 後 援 費	1,000,000	1,000,000	0
学 生 後 援 費	6,000,000	3,000,000	3,000,000
同 窓 会 積 立 金	0	0	0
賃 借 料	100,000	100,000	0
事 務 局 人 件 費	200,000	200,000	0
雑 費	100,000	100,000	0
次 年 度 繰 越 金	3,465,000	6,163,517	▲ 2,698,517
合 計	16,415,000	15,113,517	1,301,483

埼	玉	工	業	大	学	同	窓	会
	役		員		名		簿	

(平成22年9月現在)

(任期：平成24年3月31日)

会 長 黒岩正明 (2期生・電子)

副会長 加藤康彦 (2期生・環境)

書 記 新井崇宏 (17期生・電子)

会 計 飯塚 稔 (2期生・環境)

委 員 皆川好典 (8期生・環境)

委 員 相川 誠 (18期生・機械)

委 員 兼吉道策 (20期生・環境)

委 員 雨宮康順 (21期生・電子)

委 員 庄野峰子 (25期生・応化)

監 事 佐藤幸司 (8期生・電子)

副会長 菅原仁志 (6期生・電子)

書 記 峯尾圭一 (25期生・機械)

会 計 赤見 治 (20期生・電子)

委 員 大沢昭三 (17期生・機械)

委 員 吉田 寛 (18期生・電子)

委 員 坂田貴宏 (20期生・機械)

委 員 大友伸哉 (23期生・電子)

委 員 嶋田康伸 (27期生・情報)

監 事 滝沼 東 (9期生・電子)

埼玉工業大学同窓会会報 No.23

2010年9月発行

編 集 埼玉工業大学同窓会会報委員会

発 行 埼玉工業大学同窓会

〒369-0293 埼玉県深谷市普濟寺1690

TEL.048 (585) 6823 (直通)

URL:<http://www.sit.ac.jp/>

学校法人智香寺学園

埼玉工業大学

〒369-0293 埼玉県深谷市普濟寺1690

TEL.048-585-2521(代)